

会報

T.U.W.V
OB会OB会員（オブ銀川崎支店）
振込先（東北大富ワンダーフォーカルOB会）
普通口座「1881604」

— 老体疲劳破壊試験報告 —

若佐亘雄(10期)

§1 試験目的

東北大富ワンダーフォーカル学部入學10周年を記念する

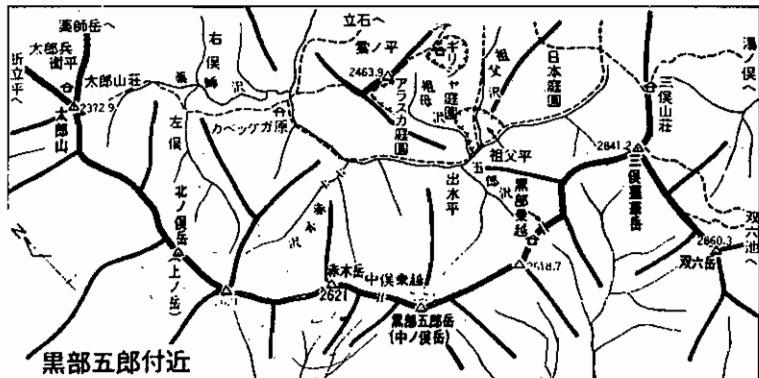
§2 試験要領

当年度が3年の「平・リターン」として北アルプスで夏合宿を行ったが、その際集中地として「裏の平祖父沢源頭」へ「8月6日午後3時」を期して集中する。

集中期日については、予め予備調査を行ない、その結果8月中旬の希望が立たなかったが天候にやや難があると考えられた。昭和44年の夏合宿においても10日以上(パーティーによつては2週間)もシエラフが車をやかまつたほどの大天候であったので、今回はその天候に重点をおいて、その後に希望のあった8月第1週の土曜日を集中日としたものである。

§3 試験結果

当年度16名中8人が集中に成功、更に1期下の秋田、市内両氏および4期下



の須田裕子氏(現野家夫人)も見事集中された。当日(8月6日)前後は極めて天候もよろしく、集中地においては夜遅くまで、サトウオード、青ひん、ホワイト、ニッカの各酒をさかん良く飲み干したうえ、當時の

(2)

香歌をよくこねだけ籠をとらめたものだと感じしながら歌あけ。その後
ツエレトに会宿した

今回は全般に天候に恵まき山行快適な山行であった

54 考察

- ① 我々はまだ充分に使用に耐え得ることかわがた。これに自信をもってより一層の努力をつむべきであらう
- ② 社会のしがらみの中にはるか、長期の休暇を鬼山通りに取ることが難しいことは日々感じているがその中に11人も集中できた事は、山に向かう相变らずの「もへすきがけん」を感じるものである
- ③ 昭和44年の合宿時に移動現地本部として活躍し、「アニーフス」の称号を受領された諸君にも御案内しておかねらす。1人の集中しながったのは残念であった。
- ④ 灰崎太造先生御夫妻に槍ヶ岳をお会いできることができたが、相变らず山に入られておられる由。その若さしい姿に刺激されたものであった
- ⑤ 次の試験予定における、更に材料疲劳試験を進行してまとめて山5年後に行なう。その頃には各氏とも新令金属を析出(2世誕生)しておられることが考えられるので、例えれば奈良田温泉白根荘で非破壊試験としてはどうだろうか、その後更に模擬し、ツメ、雪の半日試み、ラブチュー(破断)に到るまで種々とみたい。

* OB会報原稿募集について

OB会報の充実を図るために広く皆さんのお手紙をお待ちしております。
次号(第10号)は平成3月発行を予定しております。近況報告を含め、
といじり事務局宛てお送り下さい。本お送り先は下記の通りです。

〒239 横須賀市馬堀海岸2-23-14

佐藤拓哉記

<丹沢ピクニック報告>

A52.5.22(日)

小雨がハラツツタガ、不人集まるかと期待と不安にからからのですべり出し、去年は雨の中止のうき目に合って、今年もせひともと足を運んだ面には佐藤拓哉一家4名+1他2名の計7名、雨に備え小原氏持参のネットを持ち、万全の構え。山の情勢を兼ね、付近に散らしておいた柘のれを集めて、食からファイヤーを奉行してのぞみります。その後各自のエッセイを持ち出し、X=2-変遷を伴つたバーベキューならぬ脱糸計をすりながら山頂の山みへて攀じ、一時もすまし、快適なドライブで帰路についた次第。

<OB山行のお知らせ>

恒例のOB山行は今回で5回目を迎きました。南アルプスの秋を満喫すべく広河原に集うことになりましたので多くの方々の参加をお願いします。

○集合日時 10月15日(土) 16:00 広河原テントサイト

○装備・食料 全て各自の責任で用意下さい。

○集合連絡	佐藤拓哉	会社 045(712)1111 (内線4769) 自宅 0468(41)8622
	菅原英行	会社 045(871)2300 (直通) 自宅 0466(34)7419

○宿泊案内

山小屋利用の方は下記へ組合下さい

* 国民宿舎「広河原ロッジ」

* 申込

山梨交通広河原ロッジ係

TEL 0552(37)0131

* 料金 3200円

* 定員 80名

甲府↔広河原バス停

(所要時間20分、¥1000)

	甲府発	広河原発
平日	6:00 13:00	8:50 15:40
休日 (日曜) (祝日)	4:00 6:00 7:30 9:00 10:40 12:00 13:00	8:50 10:40 12:00 13:30 14:50 15:40 16:40

(8)

東京になりましたので、OB会行等に行つた
たいと思つています。

現在、四国新居浜で実業中の身です。先日は
西日本一の高峰である錦山に登ってきました。ちょうど
山開きと重なり、修驗道など、おせりうい風俗も
みると、どこで、キモーなまますは運びますで、城具

出そり出そりと思つて、葉書をいつの間にか
忘れ、大変遅くなってしまい申し訳ありません

ません。小さく健康体のもすこに山に登る気力
は失せてまい、たまたま人工の野原で自球を
こころすだけとなりました。諸兄姉の活躍も
これこの姿を想像して、樂んでいます。

会幸 なつかしく見て、とてもやさしい
二人力を食らせていただき御苦労様です
勝手ながら今度とせよろしく
小生 幸運以来七年半の研究所
現場に出で一年半、道路建設の方の
地元調査等に明け十箇所程度です。

四年卒の後十九歳も無職られたとか
うらやましいがせりです。今は福岡市に
沖縄へ行くかもしませんが、其の間に会
うきう機会とあらしめにとま

その後おまかづがおどんか。二七三は先回より
仕事が出て、能登半島の竹内根の町、市に行き
ました。有料道路の調査です。明日あらます

一周間位地図踏査は行きました。宿は志賀町高
次、新旅館(0763-0225)の予定。まだ室内は現在完
成工事中、何が事、全く未ありますから 0425-73-2361 大糸
へ御連絡下さい。サリーの春開は未だ続続中
とあります。

甲子園球場め歩いて 5分くらい
とてて野球のあるときはやかましい
くらうござります。

夏の高校野球、Tリーグ等 たくさん
しています。

雨宮良夫
(12期)

上田俊朗
(7期)

山田豊
(3期)

朝倉肇
(5期)

では、今日は第4回の会員礼式です。

浜聰
(6期)

こうしてOB会報貰うと、皆相変わらず平輩(?)の人は子供連れて若い人は退役の方はバリバリとやっておられるようだ。

まとめ役の会長は元こころ労士人。
こちら大阪の連中第6期の4人(新井江原・松本・牛生)2~3ヶ月、一度「おまかに集まりますか?」と来て頂いて山へとなりと仲々子連れの身思うにまかせました。
それでは家族で職場の連中と或いは一人でトチボチ歩いてはいるのですが……。

宗村文司(6期)

小生は昨夏チビ(3才)を連れて立山上歩いてきました。午後、宝慶堂までケーブルバスで乗り継いで行きましたが、道上まではんとか「アメ」と「ムチ」で歩かされました。
今年は、釣り屋へと思つてはまかどなりうるか、関東の背景によく。

野村彰夫

(6期)

今度のOB会報読ませて貰いました。

みなさまの様子がとてもよくわかり樂しみになりました。

さて、4月1日より信州大学工学部に転任致しました
たゞで住所変更の連絡をします。今度は長野市
での生活で、北アルプス(木戸谷)など利用して下さい。

直江真一(14期)

四月二十三、二十四日に例により奥岳にて新歓が催されました。あとで、得体先生、年寄りOB連は腹をくらませんやーなが、十四期の甲斐、直江、十六期の福田義吉(左)、高橋(運)が集まりました。二十三日の晚、アラは出来ませんやーたが久々ぶりと告白、輝(右)も聞かせてもらいました。翌二十四日、甲斐、直江は、泉口ひづら(本多)など三千円と三五百円を貸すキーワード借り、北泉頂上から三叉路まで快々山歩きを楽しめました。自然のスキーが好きなので、どうやら王の上も気合せず、うせつや爽快がありました。

以上、近況報告を。

前略
⑤
今回懐かし、昔のOB会報を持ち、
いつでもあります。
多忙を重ね、沖縄同窓へ山行をしようと
うややかに御見しかば。
者不、上の二人(小2、幼)は結婚歩け2月
か3月で一才半、エビニ・ミヤ(大やか)と
です。と3歳2才、車高歩け2月半!
3月16日朝、南部瀬は全国にやられました。
学生時代に、苦心も懶心も、あらゆる状況、
岩手山のふもと、毎日残雪の山々を眺め
77777してます。毎朝山の裏北上川の河原
でランニングをやつづり、今度からほん山歩きも
始めました。此には15歳の節、下部を
やけに下せ。

新郎路先 日本道路公团(建設局監査課)
Tel 0196-24-2155

折付、豊岡市原山町1-4-1
兵庫県 203号
不懇 Tel 0196-35-6744

三月一部(5期)